令和７年度　自己評価・学校関係者評価報告書

令和 ８年 ３月 ３１日

学）金沢学園　金沢学童クラブ

１、　本園の保育目標

・健康と保育の安全を第一とする。

・健康で明るく素直な児童　　・約束を守りみんな楽しく遊べる児童

２、　本年度重点的に取り組む目標・計画

・個々の児童を大切にし、基本的な生活習慣を身につけ、安全な保育を行う。

３、　評価項目の達成及び取り組む状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	全体的な計画を見直し改善を図る	A	児童の姿を充分理解し、保育士同士で話し合い、遊びの充実や保育内容の見直しを行った。
2	保育の質向上のために、園側との連携を図る。	B	あそびの充実を図るため､園側の教職員と情報交換を行い、生活の場の共有など連携を図った。
3	保護者や小学校との連携を図る。	B	保護者との連絡や小学校との連絡を取り合い幼保小連絡協議会などに参加し、情報の共有を行った。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

４、　総合的な評価結果

評価	
B	評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人ひとりの児童を大切にした、安全な保育を実践する事ができた。また、保護者や小学校との連絡・連携についての課題も明確になった。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

５、　今後取り組む課題

	課　題	
1	環境	園庭や室内の環境について話し合い、遊びが充実するように環境の構成に取り組む。
2	安全管理	緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアル等を保育士間で共通理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る。
3	小学校との連携	小学校の教師と情報交換を行う機会を持ち、安心・安全に下校し、保育環境を整える。

６、学校関係者評価委員会の評価

※委員の総合的見解は、総合評価　のと同様にほぼ評価が高かった。

１．安全に一年間保育ができたこと、保育環境の改善も行った。

２．家庭で保育できない児童のため、安心安全な学童保育に努めた。

３．総合評価に準じて、日頃の課題にも積極的に取り組み、ある程度の評価だった。